

松本市議会議員

吉村幸代

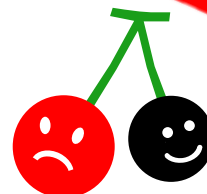
よし むら さち よ

発行 吉村幸代後援会

〒399-0025 長野県松本市寿台9丁目4-1
Tel & Fax 0263 (58) 0201
E-mail sachiyo941@gmail.com
URL <http://yoshimura-sachiyo.jp/>

の活動レポート

第17号(令和2年度上半期号)



2020年9月発行

続投中！ 経済地域委員長

コロナ禍・新市政・松枯れ議論の半年

令和2年5月、本来ならば市議会人事の更新時期ですが、コロナ禍中につき手続きや負担を軽減しようとの配慮から、各委員長は続投との決定がなされました。

「やれやれ、委員長の任期がようやく終わる。市長が交代したし、コロナ打撃の経済対策あり、松くい虫対策ありと、次の経済地域委員長は一段と大変だね」と言っていた矢先のこと。トライアスロン競技の「ゴールデン直前に、過酷なコースを再度一周せよ」と告げられたかのように愕然としました。

委員会をまとめ、議事の進行・報告役を務め、市を挙げて行われる多くのイベントや各種団体との交流会に出席、全国各地から訪れる視察団を受け入れるなどして、慌ただしく過ごしてきた春夏秋冬。合間に調査研究に励み、自ら政策



提言を執筆。「松本市商業ビジョンをふまえた中心市街地活性化に関する提言書」商都まつもとトライアングルが輝き続けるために」と題して臥雲市長に提出し、良い

感触の返答をいただいて安堵したばかりでした。

新型コロナウイルス感染拡大の緊急事態宣言下の新市政が発足して半年余。新市長は、選挙公約に基づいて市政の方針転換を次々と打ち出してられます。その代表格となった松枯れ対策に、はたまたコロナ打撃で滞った経済社会活動の対応にと、経済地域委員会は多忙を極めました。今までは、そうした半年間を振り返り、総括したいと思います。



▲ 令和2年7月 テレビ松本の番組「委員会レポート」収録

定例議会が終わると、番組収録に臨むのも委員長の仕事です。奥のスタジオで、複数のカメラに向かって語りかける吉村幸代を、手前のモニター数台が映し出しています。



「松枯れには薬剤散布が一番」「自分は減農薬で農業をしているが、何とか空中散布をしてほしい」（吉村幸代議員）——これは、ある市民団体が集会で配布した資料に書かれていた文言です。集会には、私の親しい友人たち計7人が参加しており、各人から「おかしいことが書かれているよ」と連絡を受けました。

市議会の会議録音があります。「四賀地区から要望書が提出されており、薬剤散布が一番という内容である。市は、こうした地元の民意をどう扱うのか」「異常な大雨が増え、土砂崩れが心配。私は減農薬栽培をしており、決して農薬が好きなのではないが、この夏は何の手立ても講じずに放置するということか」が私の発言内容です。樹幹注入は秋以降に行う予防策なので、今夏・来夏の対応を確認したのでした。

意味が全く違うでしょう？ 市民団体の代表者に質したところ、「謝罪・訂正する」と言われましたが、ひとたび出回った文書のひとり歩きは止められません。だから、正しくご報告しておきたいと思います。

これが真相！ 松枯れ対策をめぐる協議

- | | | |
|----------|------------------------|---|
| 3月30日(月) | 臥雲新市長就任 | |
| 4月14日(火) | 第1回 臨時市議会
経済地域委員協議会 | 市長「松枯れ被害拡大、成果が出ていない。あらゆる選択肢をもって検討」と挨拶
吉村「進め方が具体性に欠け、承認しかねる。方針を整理し、協議させて」と集約 |
| 5月14日(木) | 経済地域委員協議会 | 吉村「進め方が具体性に欠け、了承しがたい。方針を提示し、協議させて」と集約 |
| 19日(火) | 第2回 臨時市議会 | 市長「今年度計画していた四賀地区の薬剤空中散布を実施しない」と表明 |
| 21日(木) | 四賀地区町会連合会 | 同松くい虫対策連絡協議会から議長宛に「薬剤空中散布の継続に関する要望書」提出 |
| 22日(金) | 経済地域委員協議会 | 市の「樹幹注入等の方針転換」という具体的な説明が出され、ようやく協議の俎上に
吉村「大きな方針転換につき、全議員による協議会で協議する必要がある」と集約 |
| 27日(水) | 全議員による協議会 | 市長の説明を受けて協議。吉村の経過報告を皮切りに激論、議長「継続協議」と集約 |
| 6月4日(木) | 全議員による協議会 | 吉村「四賀地区の民意は？今夏・来夏の対応は？」と、ここで上記（冒頭）の質問
議長「議会として統一的な意思決定はできない。了承しがたい」と集約 |
| 18日(木) | 経済地域委員協議会 | 市から「樹幹注入の夏期施行案」が示されるも、農薬取締法により不可能と判明
吉村「協議内容・資料が不正確で了承しがたい。行政は慎重で冷静な判断を」と集約 |

4月の経済地域委員協議会に、松くい虫対策に関する報告案件が提出されると聞いて、私は耳を疑いました。「何で今、松くい虫!？」

時は新型コロナウィルス感染拡大の緊急事態宣言下。「まずは感染防止、客足の途絶えた旅館や商店を救わなくては」と夢中でした。

一方、松くい虫対策事業は、四賀地区の要望をもとに計画され、2月定例議会で予算承認を受けて事業化、散布期日も迫っています。四賀地区の方々の了承は得られているのだろうか、気にかかります。

手順を間違えると、走行中の車のサイドブレーキを引いたような混乱が起きるでしょう。主観でなく、様々な角度から可能性や費用対効果を勘案し、最大公約数を求めるのが議員の仕事だと、私は考えます。

経済地域委員協議会は、傍聴席が足りないほど注目を浴びました。委員には空中散布に賛成の議員も反対の議員もいて、議論の場としては幸いです。気の毒なのは農林部の方々でした。これまで「白」と言っていたものを「黒」と説明せざるを得ない上に、就任2週間の新市長の意向を把握し切れていない様子で、答弁に窮します。具体的な方針が一向に提示されないまま、自粛期間中の会議開催が続き、私は委員長として、議会史上異例の集約「承認しがたい」を繰り返すこととなりました。

5月の臨時会で市長が方針転換を表明。3日後、四賀地区から議長に「薬剤空中散布の継続に関する要望書」が提出されました。

ここから先は、市長の諮問会議「松本市森林再生会議」での議論を注視し、対応してまいります。

傍聴者の野次が飛び交って、大変な協議会でしたよ！



マツノマダラカミキリ 雌雄
(松を枯らす線虫の運び屋)

世の変革、人の再生

「見えない敵」との闘いを強いられる日々が続いている。新型コロナウイルスの感染拡大、パンデミックという非常事態は、私たちが一年前には予想もなかった日常を作り出した。どこもかしこもマスク、マスク、マスク。

春到来。心浮き立つ季節なのに、都市封鎖や外出制限が行われた国もあって、国と国の往来が困難になった。「グローバル化」は認識していたつもりだったが、新型コロナウイルスの感染経路や日時を検証する報道を見聞きするうちに、その進展が自分の想像をはるかに超えていることを思い知らされた。

ほんの一握りの特別な人々だけに洋行が許された時代を経て、誰でもTシャツにサンダル履いで渡航できる世の中になっている。その功罪を突き付けられる思いも抱いた。「昔であれば、この感染症は中国武漢の風土病というレベルで終わっていたはず」と専門家が

指摘。国内の労働力不足を、格安賃金の外国人労働者で補おうと正てたツケも回ってきている。

やがて、日本国内でも緊急事態宣言が発出され、皆が外出を自粛。経済社会活動停止。登下校の子らの声が途絶え、観光客の姿も消えた静かな市街地を、私自身はというと、松枯れ対策に関する新市長の方針転換を受けて、登庁を余儀なくされる日々が続いた。

職業別の感染リスクが報道され、上位を医療関係が占めている。我が息子は松本市内の病院勤務、覚悟を決めた。一戦地に愛意を送り出す辛さつて、こんな感じかな。

出かけたくても出かけられぬ人々がいて、出かけたくなくても出かけねばならない人々もいる。

梅雨期には追い打ちをかけるように降り続いた大雨が、全国各地で河川の氾濫や土砂崩れを引き起こした。屋根を叩く異常な雨音の中で、ふと私は「天地創造」というスベクタクル巨編映画を思い浮かべた。禁断の木の実を口にしたアダムとイブは、知恵を得た代わりに樂園を追放される。子孫が生まれて人間が増え、地に悪徳がは

びこった時、神は世界を水で洗い流すことを告げる……旧約聖書にある「ノアの箱船」のエピソードである。「コロナ禍に大雨が加わった危機的状況が、人類に神が与えた試練のよつに思えたのだった。経済活動停止の後遺症は重篤だ。旅料飲食業やサービス業に代表される影響の大きい業種は、今年末を乗り切ることができなのか。」

これまで私は、「どう・つながる・ふれあう」をキーワードに、公民館活動や地域づくりに励んできた。「語り合う・酌み交わす・手を繋ぎ心を通わす」を念頭に、人間関係を紡いできた。こうした価値観も転換せねばならないのか。

しかしながら、「ノアの箱船」から考えてみると、太古の昔から人類は数多くの悲劇に直面し、乗り越えてきた。進歩と忍耐が試されるような重大な危機に立ち向かい、進化を遂げてきた。我々が来し方を顧みて熟慮し踏み出せば、この試練は有益なものとなる。

新型コロナウイルスには必ず勝てる。そして、事態の収束後には、世の変革と人の再生がもたらされるはず。

登壇しました！

令和2年9月定例議会

新市長の選挙公約に記載が少ない、しかし重要な三つの分野について方針や方向性を確認した質問です。

1. 学都松本の学校教育について

- (1) コロナ禍における道徳教育と平和学習
- (2) 自然科学教育と新科学館の建設
- (3) 教育委員会との関わり方を含めた、学校教育に対する市長の思い

2. 楽都松本の文化政策について

- (1) まつもと市民芸術館の現状と課題
- (2) 一般財団法人松本市芸術文化振興財団の運営
- (3) 市長の政治姿勢

3. 中山間地における農業とコミュニティの存続について

- (1) 土地・建物規制をめぐる現状と課題
- (2) 松本市農業委員会および地区住民の要望
- (3) 市長の政治姿勢



▲1/24(金) 才教学園中学校・和楽器体験学習
▼2/12(水) 松本商店街連盟新年会 in 松本館

2/2 (日) 吉村後援会総会・新年会
上條裕朗後援会長から挨拶



4/3 (金) 松本短大幼稚園入園式
孫2人が揃って入園、写真に写っている母親も従兄も皆卒園生



5/7 (木) コロナ禍自粛生活の成果
市議1期目の書類を整理・大処分



吉村写真館 2020年 冬～夏



▲5/27(水) 激論「松枯れ対策」議員協議会
多くのテレビカメラと傍聴者で緊迫度UP
所管の委員長として口火を切った吉村 ▶



▲7/27(月) 息子の誕生日の朝
昨秋に棚峯町会の方から頂き、
越冬させた琉球朝顔の花開く

編集後記

人の子も我が子と同じ愛の
目で——自宅前の路上に立つ
標語看板を、幼い頃から不思議
な気持ちで見ていた。▼長期政
権が突如終幕した。最終最後の
大事業「アベノマスクの配布」
に投じられた税金は507億
円。多くの国民の脳裏を「ムダ」
の二字が過ぎたが、所詮は
他人事、人の財布が。関心は次
の人事へと移った。▼「患者の
気持ちになって」というけど、な
りすぎたのかな。僕が病気にな
っちゃった」。精神科医の友人
が、うつ病を患った。▼物事に
対する距離感とは難しい。他人
事を我が事として捉えるのも、
なかなか困難だ。松本市は、四
賀地区限定で山の松に樹幹注
入を行うという。効果は不確か
だが、予算は1億5千万円也。
自宅の松の木への樹幹注入を
高価ゆえに迷っている身には、
天文学的数字だ。四賀以外の山
はどうなるのか。枯れた松で赤
くなった中山・内田の山を眺め
て、ため息が出た。(結城子)